

# JPMグローバルCBプラス

## 第 32 期 運用報告書(全体版)

(決算日:2020年10月26日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPMグローバルCBプラス」は、去る10月26日に第32期の決算を行いました。

当ファンドは世界のCB(転換社債)を中心に、世界の株式や世界の国債も実質的な投資対象として運用を行い、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的とします。

当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

### 当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドを通じて世界のCB(転換社債)を中心に、世界の株式や世界の国債も実質的な投資対象として運用を行い、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的とします。 <small>CBとは、株式に転換できる債券で、一般に「CB」(英語:Convertible Bond)または「転換社債」と呼ばれています。株式と債券の両方の性格をあわせもっています。</small>	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMグローバルCBプラス・マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界のCB(転換社債)を中心に、世界の株式や世界の国債にも投資します。
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
	マザーファンド	世界のCBへファンドの60%を投資することを基本とします。市場動向の見通しに応じておおむね±10%の範囲内で資産配分を変更します。また、世界の株式については30%、世界の国債については50%を上限として投資を行います。弾力的に為替ヘッジを行うことにより、主として為替変動による基準価額の下落リスクを軽減させることを目指します。株式への投資割合は純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	毎年2回(原則として4月25日、10月25日)の決算時に基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。 ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(注)当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注)「GIMグローバルCBプラス・マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「グローバルCBプラス・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

〈お問い合わせ先〉

JPモルガン・アセット・マネジメント

ホームページアドレス <https://www.jpmorgan.com/jp/am/>

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)			リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジあり、円ベース)			株式 組入比率	新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配 金	期中 騰落 率	期中 騰落 率	期中 騰落 率	期中 騰落 率	期中 騰落 率						
	円	円	%		%		%	%	%	%	%	百万円	
28期(2018年10月25日)	11,734	100	△ 2.0	22,167	△ 1.4	19,192	△ 3.0	19.5	60.8	5.2	1,643		
29期(2019年4月25日)	12,004	100	3.2	23,813	7.4	20,637	7.5	22.6	55.8	5.1	1,629		
30期(2019年10月25日)	11,859	100	△ 0.4	23,446	△ 1.5	20,758	0.6	22.8	66.0	4.4	1,465		
31期(2020年4月27日)	11,098	100	△ 5.6	22,688	△ 3.2	20,305	△ 2.2	22.4	66.8	4.1	1,312		
32期(2020年10月26日)	13,713	100	24.5	28,529	25.7	25,709	26.6	23.9	68.8	2.2	1,549		

(注)基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注)リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、当ファンドの投資対象市場の動きを示すものであり、当ファンドのベンチマークではありません(以下同じ)。

(注)リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

(注)リフィニティブ・グローバルCBインデックスは、Refinitiv(「リフィニティブ」)が発表しており、著作権はリフィニティブに帰属しております。リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、同社が発表したリフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです(以下同じ)。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)			リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジあり、円ベース)			株式 組入比率	新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率						
(期首)	円	%		%		%	%	%	%	%	
2020年4月27日	11,098	—	22,688	—	20,305	—	22.4	66.8	4.1		
4月末	11,344	2.2	23,089	1.8	20,795	2.4	22.5	66.1	4.0		
5月末	12,097	9.0	24,413	7.6	21,735	7.0	22.6	66.5	3.8		
6月末	12,467	12.3	25,549	12.6	22,666	11.6	23.1	66.7	3.7		
7月末	13,065	17.7	26,667	17.5	24,017	18.3	23.2	65.9	2.7		
8月末	13,670	23.2	28,031	23.5	25,128	23.8	24.2	67.2	3.2		
9月末	13,343	20.2	27,711	22.1	24,831	22.3	24.0	68.1	2.3		
(期末)											
2020年10月26日	13,813	24.5	28,529	25.7	25,709	26.6	23.9	68.8	2.2		

(注)期末基準価額は分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注)リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

## 投資環境

### ◎CB市況

世界のCB市場動向を表わすリフィニティブ・グローバルCBインデックス(米ドルベース)は、前期末比で上昇しました。各国・地域のCBインデックスでは、米国(米ドルベース)、欧州(ユーロベース)、日本(円ベース)、アジア(除く日本、米ドルベース)の全ての国・地域でプラスとなりました。

- ◆期首から8月下旬にかけては、米国や欧州などの一部の地域で新型コロナウイルスの感染再拡大が見られたものの、各国でロックダウン(都市封鎖)の制限措置の緩和が進んだことや米国での追加経済対策に対する期待感などを背景に、上昇しました。
- ◆9月に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大が欧米の一部地域で依然として拡大傾向にあることや、11月の米国大統領選挙に対する先行き不透明感などにより投資家の景気回復への期待が後退したことなどから軟調に推移しましたが、期末にかけては、米国の追加経済対策合意への期待などから市場は落ち着きを取り戻し、概ね上昇基調で推移しました。

### ◎為替市況

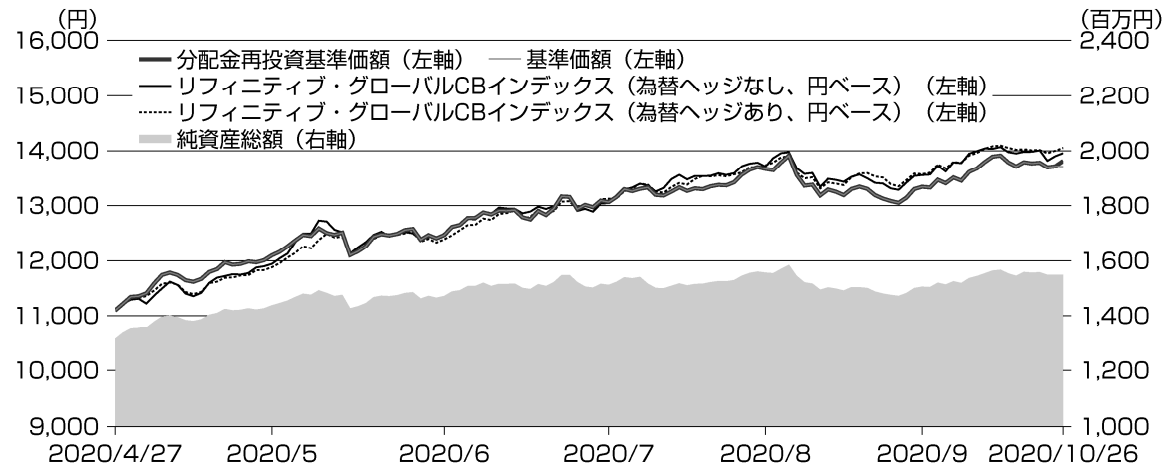
為替市場では、新型コロナウイルス感染拡大が懸念材料となったほか、米中間の緊張が高まったことなどから、前期末比で米ドルは対円で下落しました。ユーロは、欧州の一部地域で新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念材料となったものの、ECB(欧州中央銀行)が大規模な追加緩和策を発表したことで欧州の景気回復期待が高まったことなどを背景に対円で上昇しました。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額等の推移

○当ファンド:基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+24.5%となりました。

○組入ファンド:マザーファンドの基準価額の騰落率は+25.3%となりました。



(注)基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同)。

(注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同)。

(注)分配金再投資基準価額およびリフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

### ◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて投資通貨である米ドルが対円で下落したことはマイナスに寄与したものの、保有証券の価格が上昇したことなどが基準価額を押し上げました。

### ◎ポートフォリオについて

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

#### ○マザーファンド

CBの保有比率は前期末からやや上昇した一方、現金等の保有比率は前期末から低下しました。資産別では、株式、CBともにパフォーマンスに貢献し、各国・地域別で見ると、全ての国・地域への投資がパフォーマンスにプラスに寄与しました。セクター別でも、全てのセクターへの投資がパフォーマンスにプラスに寄与しました。

## ◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当りの分配金は100円(税込)としました。留保益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込)

項 目	第32期
	2020年4月28日～ 2020年10月26日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.724%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,381

(注)対基準価額比率は当期分配金(税込)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注)円未満は四捨五入です。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆マクロ経済指標の改善や企業および消費者景況感の改善を受けて、景気回復は順調に進んでいると見ています。金融緩和や財政出動はかつてない規模で実施されており、世界的な景気回復をさらに後押しすると考えます。しかし、11月の米国大統領選挙やEU(欧州連合)と英国との間のFTA(自由貿易協定)に関する協議など政治的なリスクは留意すべきと見ています。新型コロナウイルスの感染が再拡大している点も、今後の経済の行方を左右すると考えますが、広範囲に及ぶロックダウン(都市封鎖)のような政策は実施されないと予想します。
- ◆新型コロナウイルスの感染状況や、米国の大統領選挙、米国追加経済対策の議会での協議状況などにより、今後も市場の変動性が高い状態が継続すると考えます。

### ◎今後の運用方針

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

#### ○マザーファンド

世界のCBを中心に投資を行うとともに、世界の株式と世界の国債に投資機会を求め、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

## ○1万口当たりの費用明細

(2020年4月28日～2020年10月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	111	0.878	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 52 )	( 0.411 )	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 販 売 会 社 )	( 52 )	( 0.411 )	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 受 託 会 社 )	( 7 )	( 0.055 )	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{[期中の売買委託手数料]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$
( 株 式 )	( 0 )	( 0.000 )	有価証券の取引等の仲介業務およびこれに付随する業務の対価として証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{[期中の有価証券取引税]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$
( 株 式 )	( 0 )	( 0.000 )	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 優 先 証 券 )	( 0 )	( 0.000 )	
(d) そ の 他 費 用	3	0.026	(d) その他費用 = $\frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$
( 保 管 費 用 )	( 2 )	( 0.013 )	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	( 0.011 )	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
( そ の 他 )	( 0 )	( 0.002 )	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	114	0.904	
期中の平均基準価額は、12,664円です。			

(注) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

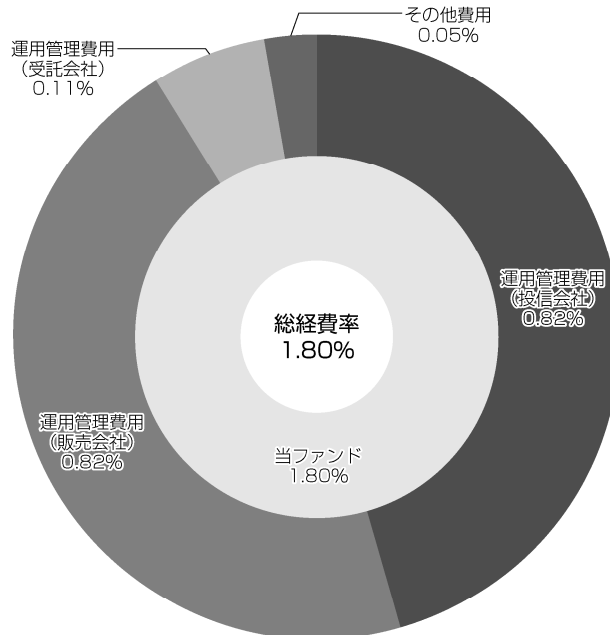
(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.80%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年4月28日～2020年10月26日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバルCBプラス・マザーファンド受益証券	千口 34,741	千円 91,276	千口 69,126	千円 182,507

(注)単位未満は切捨てです。

## ○株式売買比率

(2020年4月28日～2020年10月26日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	グローバルCBプラス・マザーファンド受益証券	
(a) 期中の株式売買金額	62,566千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	342,757千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.18	

(注)(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年4月28日～2020年10月26日)

## 利害関係人の発行する有価証券等

## &lt;グローバルCBプラス・マザーファンド受益証券&gt;

種 類	当 期		期 末 保 有 額
	買 付 額	売 付 額	
新株予約権付社債(転換社債)	百万円 -	百万円 -	百万円 28

(注)金額の単位未満は切捨てです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とはJPモルガン・チェース銀行です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年4月28日～2020年10月26日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年4月28日～2020年10月26日)

該当事項はございません。



## ○組入資産の明細

(2020年10月26日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
グローバルCBプラス・マザーファンド受益証券	千口 576,223	千口 541,838	千円 1,566,131

(注)口数・評価額の単位未満は切捨てです。

## ○投資信託財産の構成

(2020年10月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
グローバルCBプラス・マザーファンド受益証券	千円 1,566,131	% 99.4
コール・ローン等、その他	9,685	0.6
投資信託財産総額	1,575,816	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注)グローバルCBプラス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,528,299千円)の投資信託財産総額(1,568,229千円)に対する比率は97.5%です。

(注)外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=104.70円、1カナダドル=79.65円、1ユーロ=124.02円、1英ポンド=136.65円、1スイスフラン=115.74円、1スウェーデンクローネ=11.96円、1香港ドル=13.51円、1シンガポールドル=77.14円、1新台幣ドル=3.66円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年10月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
<b>(A) 資産</b>	<b>2,390,762,352</b>
グローバルCBプラス・マザーファンド受益証券(評価額)	1,566,131,092
未収入金	824,631,260
<b>(B) 負債</b>	<b>841,529,748</b>
未払金	814,946,117
未払収益分配金	11,297,503
未払解約金	2,074,157
未払信託報酬	13,048,920
その他未払費用	163,051
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>1,549,232,604</b>
元本	1,129,750,381
次期繰越損益金	419,482,223
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,129,750,381口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	13,713円

## &lt;注記事項&gt;

期首元本額	1,182,587,214円
期中追加設定元本額	43,216,676円
期中一部解約元本額	96,053,509円
当期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。	
未払受益者報酬	815,565円
未払委託者報酬	12,233,355円

## ○損益の状況

(2020年4月28日～2020年10月26日)

項 目	当 期
	円
<b>(A) 有価証券売買損益</b>	<b>313,589,349</b>
売買益	382,111,520
売買損	△ 68,522,171
<b>(B) 信託報酬等</b>	<b>△ 13,217,911</b>
<b>(C) 当期損益金(A+B)</b>	<b>300,371,438</b>
<b>(D) 前期繰越損益金</b>	<b>27,947,351</b>
<b>(E) 追加信託差損益金</b>	<b>102,460,937</b>
(配当等相当額)	( 177,994,628)
(売買損益相当額)	(△ 75,533,691)
<b>(F) 計(C+D+E)</b>	<b>430,779,726</b>
<b>(G) 収益分配金</b>	<b>△ 11,297,503</b>
<b>次期繰越損益金(F+G)</b>	<b>419,482,223</b>
追加信託差損益金	102,460,937
(配当等相当額)	( 178,026,800)
(売買損益相当額)	(△ 75,565,863)
分配準備積立金	317,021,286

(注) 損益の状況の中で**(A)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。(注) 損益の状況の中で**(B)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。(注) 損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に関する権限を委託するために要する費用として純資産総額に年率0.35%を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,855,720円)、費用控除後の有価証券等損益額(212,723,018円)、信託約款に規定する収益調整金(178,026,800円)および分配準備積立金(109,740,051円)より分配対象収益は506,345,589円(10,000口当たり4,481円)であり、うち11,297,503円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

(注) 当期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

受益者報酬	815,565円
委託者報酬	12,233,355円

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	100円
----------------	------

## 課税上の取扱いについて

● 普通分配金に対して、個人の受益者については、配当所得として20.315% (所得税および復興特別所得税15.315%、ならびに地方税5%)の税率で課税されます。なお、外国税額控除の適用となった場合、分配時の税金が前記と異なる場合があります。法人の受益者の場合、前記とは異なります。元本払戻金(特別分配金)は課税されません。

※ 上記は2020年10月末現在適用されているものです。税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になる場合があります。詳しくは税務専門家(税務署等)にお問い合わせください。

# GIMグローバルCBプラス・ マザーファンド (適格機関投資家専用)

## 第 16 期 運用報告書

(決算日:2020年4月27日)

(計算期間:2019年4月26日～2020年4月27日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
運用方針	世界の転換社債(CB)を中心に投資を行うとともに、世界の株式と国債に投資機会を求め、信託財産の安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。
主要運用対象	世界の転換社債(CB)を中心に投資を行うとともに世界の株式および国債にも投資します。
主な組入制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

(注)当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注)「GIMグローバルCBプラス・マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「グローバルCBプラス・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)			リフィニティブ・グローバルCBインデックス (為替ヘッジあり、円ベース)		株式 組入比率	新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率	純資産 総額
	期騰落率	中騰落率	期騰落率	中騰落率	期騰落率	中騰落率					
12期(2016年4月25日)	円	%		%		%	%	%	%	百万円	
	20,684	△9.9	19,487	△11.1	17,314	△6.3	23.4	66.2	2.9	1,629	
13期(2017年4月25日)	21,825	5.5	20,764	6.6	18,891	9.1	23.5	65.8	1.9	1,688	
14期(2018年4月25日)	23,879	9.4	22,490	8.3	19,793	4.8	21.1	52.9	4.1	1,680	
15期(2019年4月25日)	24,572	2.9	23,813	5.9	20,637	4.3	22.3	54.9	5.1	1,656	
16期(2020年4月27日)	23,067	△6.1	22,688	△4.7	20,305	△1.6	22.1	66.0	4.0	1,329	

(注)リフィニティブ・グローバルCBインデックス[旧トムソン・ロイター・グローバルCBインデックス](為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、当ファンドの投資対象市場の動きを示すものであり、当ファンドのベンチマークではありません(以下同じ)。

(注)リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

(注)リフィニティブ・グローバルCBインデックスは、Refinitiv(「リフィニティブ」)が発表しており、著作権はリフィニティブに帰属しております。リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、同社が発表したリフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです(以下同じ)。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		リフィニティブ・グローバルCBインデックス			株 式 組 入 比 率	新株予約権付社債 (転換社債) 組 入 比 率	優 先 証 券 組 入 比 率	
			(為替ヘッジなし、円ベース)		(為替ヘッジあり、円ベース)				
		騰 落 率		騰 落 率		騰 落 率			
(期 首)	円	%		%		%		%	
2019年4月25日	24,572	—	23,813	—	20,637	—	22.3	54.9	5.1
4月末	24,453	△0.5	23,708	△0.4	20,623	△0.1	22.4	55.4	5.1
5月末	23,729	△3.4	22,801	△4.3	20,104	△2.6	21.8	56.0	5.1
6月末	24,084	△2.0	23,164	△2.7	20,652	0.1	22.7	63.9	5.0
7月末	24,432	△0.6	23,593	△0.9	20,969	1.6	21.8	66.2	4.6
8月末	23,742	△3.4	22,860	△4.0	20,711	0.4	22.8	66.5	4.3
9月末	23,964	△2.5	23,060	△3.2	20,588	△0.2	22.9	66.8	4.4
10月末	24,664	0.4	23,670	△0.6	20,878	1.2	22.6	64.9	4.3
11月末	25,225	2.7	24,250	1.8	21,287	3.2	22.9	65.6	4.3
12月末	25,735	4.7	24,806	4.2	21,664	5.0	22.3	68.9	4.4
2020年1月末	25,992	5.8	25,215	5.9	22,207	7.6	22.0	66.1	4.5
2月末	25,112	2.2	24,935	4.7	21,737	5.3	21.1	66.5	4.5
3月末	22,421	△8.8	21,575	△9.4	19,140	△7.3	20.7	65.3	4.0
(期 末)									
2020年4月27日	23,067	△6.1	22,688	△4.7	20,305	△1.6	22.1	66.0	4.0

(注) 騰落率は期首比です。

(注) リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

## 投資環境

## ◎CB市況

世界のCB市場動向を表わすリフィニティブ・グローバルCBインデックス(米ドルベース)は、前期末比で下落しました。各国・地域のCBインデックスでは、米国(米ドルベース)は前期末比でプラスとなったものの、欧州(ユーロベース)、日本(円ベース)、アジア(除く日本、米ドルベース)はマイナスとなりました。

- ◆ 期首から2019年5月にかけては、米国が中国に対する関税の引き上げを行ったことをきっかけに貿易摩擦問題が再燃したことなどを背景に、CB市場は世界的に下落基調となりました。
- ◆ 6月から7月にかけては、FRB(米連邦準備制度理事会)による政策金利の引き下げ観測を背景に市場で楽観的な見方が広がったことなどから、堅調に推移しました。
- ◆ 8月以降は、貿易摩擦が再び深刻化したことや英国のEU(欧州連合)離脱を巡る不透明感が高まったことなどを背景に下落する場面もあったものの、FRBやECB(欧州中央銀行)などが金融緩和政策を実施していることや、米中間の通商交渉に進展が見られたことなどを背景にグローバル景気の減速懸念が後退したことなどが市場の支え要因となり、2020年2月中旬にかけて概ね上昇基調で推移しました。
- ◆ 2月下旬から3月にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大によるグローバル景気に対する影響が深刻の度合いを増したことなどを背景に大幅に下落する展開となりましたが、その後期末にかけては、感染拡大が中国や欧州でピークを越えたとの見方が広がったことなどから市場は落ち着きを取り戻し、概ね上昇基調で推移しました。

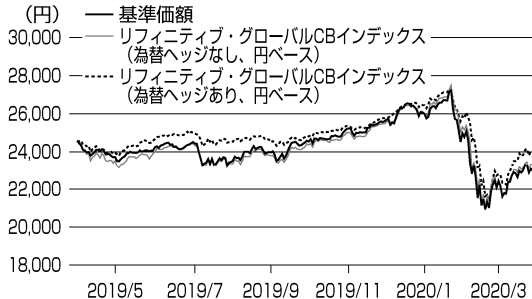
## ◎為替市況

為替市場では、新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感が高まり、相対的に安全資産とされる円が買われ、その後米国の景気対策への期待感などから米ドルが買われるなど変動性が高まった場面があった中、前期末比では米ドルは対円で下落となりました。ユーロも、欧州における新型コロナウイルスの感染拡大などを受けて、対円で下落となりました。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額等の推移

基準価額の騰落率は-6.1%となりました。



(注)リフィニティブ・グローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

### ◎基準価額の主な変動要因

投資通貨が対円で下落したことや、保有証券の価格が下落したことなどが基準価額を押し下げました。

### ◎ポートフォリオについて

CBの保有比率は前期末から上昇した一方、株式等の保有比率は、前期末とほぼ同水準となりました。資産別では、株式への投資がパフォーマンスに貢献した一方で、CBへの投資は振るいませんでした。各国・地域別で見ると、米国への投資はパフォーマンスにプラスに寄与したものの、欧州などへの投資が振るいませんでした。セクター別では、資本財やコミュニケーションセクターなどへの投資がパフォーマンスにマイナスに寄与しました。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆貿易摩擦を巡る懸念は薄らいだ一方で、新型コロナウイルスの感染拡大によるグローバル景気の後退懸念が高まっていると考えます。経済への影響の拡大の速さと深刻度はこれまでになかったもので、現時点で感染拡大を防いだとしても、景気の回復見込みは今年後半以降になると考えます。とりわけ消費関連のサービスセクターにおいては影響が深刻で、雇用の悪化につながると見えています。
- ◆足元の景気後退は通常の景気循環における景気後退とは様相が異なり、信用収縮を伴い、4-6月期の景気も低調であると考えます。市場の変動性は高まっており、各国政府や主要中央銀行が対応に追われる中、投資の好機を逃さないよう今後の経済指標や動向を注視します。

### ◎今後の運用方針

世界のCBを中心に投資を行うとともに、世界の株式と世界の国債に投資機会を求め、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年4月26日～2020年4月27日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	1 (1)	0.003 (0.003)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (優 先 証 券)	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	10 (9) (1)	0.041 (0.039) (0.002)
合 計	11	0.044
期中の平均基準価額は、24,462円です。		

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2019年4月26日～2020年4月27日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 64	千米ドル 786	百株 40	千米ドル 314
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	—	—	16 (—)	166 (—)
	イタリア	—	—	40	83
	フランス	—	—	29	343
	オランダ	12 (41)	64 (219)	49 (41)	111 (219)
	イギリス	—	千英ポンド —	125	千英ポンド 116

(注) 金額は受渡し代金です。なお、単位未満は切捨てです。単位未満の場合は小数で記載しております。

(注) 下段に( )がある場合は株式分割、権利行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

## 新株予約権付社債(転換社債)

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
国内		千円	千円	千円	千円
		45,000	52,335	200,000	200,020
外 国	アメリカ	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
		3,428	4,392	3,604 ( 400)	3,759 ( 423)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	400	562	100	97
	フランス	712	804	348	328
	オランダ	—	—	200	180
	その他	700	791	600 ( 200)	609 ( 195)
国	イギリス	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド
		300	292	100 ( 100)	113 ( 100)
	スイス	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン
		260	282	—	—
香港	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル	
	2,000	2,043	—	—	

(注)金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません)。なお、単位未満は切捨てです。

(注)下段に( )がある場合は権利行使、予約権行使、償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注)外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

## 優先証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	アメリカ	百証券	千米ドル	百証券	千米ドル
		—	—	36	268

(注)金額は受渡し代金です。なお、単位未満は切捨てです。

(注)下段に( )がある場合は分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注)外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

## ○株式売買比率

(2019年4月26日～2020年4月27日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	229,287千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	333,557千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.68

(注)(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年4月26日～2020年4月27日)

## 利害関係人の発行する有価証券等

種 類	当 期	
	買 付 額	売 付 額
	百万円	百万円
新株予約権付社債（転換社債）	23	—
		当期末保有額
		百万円
		24

(注)金額の単位未満は切捨てです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とはJPモルガン・チェース銀行です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2019年4月26日～2020年4月27日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2020年4月27日現在)

下記は、グローバルCBプラス・マザーファンド全体(576,223千口)の内容です。

## 外国株式

銘 柄	株 数	株 数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
COCA-COLA COMPANY	26	26	120	12,944	食品・飲料・タバコ	
JOHNSON & JOHNSON	17	14	216	23,328	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MOLSON COORS BREWING COMPANY-B	11	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
PEPSICO INC	23	22	302	32,543	食品・飲料・タバコ	
VISA INC-CLASS A SHARES	—	10	174	18,813	ソフトウェア・サービス	
PALO ALTO NETWORKS INC	—	3	71	7,722	ソフトウェア・サービス	
FACEBOOK INC-A	5	5	97	10,532	メディア・娯楽	
MICROSOFT CORP	—	10	188	20,246	ソフトウェア・サービス	
ROSS STORES INC	22	22	188	20,292	小売	
ILLUMINA INC	4	4	138	14,865	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PAYPAL HOLDINGS INC	—	10	122	13,177	ソフトウェア・サービス	
ALPHABET INC-CL A	1	1	178	19,230	メディア・娯楽	
COUPA SOFTWARE INCORPORATED	—	5	96	10,347	ソフトウェア・サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	112	137	1,896	204,043	
	銘 柄 数 < 比 率 >	8	12	—	<15.4%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
ADIDAS AG	6	6	132	15,413	耐久消費財・アパレル	
LEG IMMOBILIEN AG	16	—	—	—	不動産	
小 計	株 数 ・ 金 額	22	6	132	15,413	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	1	—	<1.2%>	



銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(ユーロ…イタリア) BUZZI UNICEM SPA	百株 40	百株 —	千ユーロ —	千円 —	素材
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	40 1	— —	— < - % >	
(ユーロ…フランス) AIRBUS SE LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE KERING SA SAFRAN SA VINCI S. A.	15 5 3 15 7	9 5 3 — —	51 172 143 — —	5,973 20,025 16,750 — —	資本財 耐久消費財・アパレル 耐久消費財・アパレル 資本財 資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	47 5	18 3	367 —	42,749 < 3.2 % >
(ユーロ…オランダ) ARCELORMITTAL RELX PLC UNILEVER NV UNILEVER NV-CVA	37 66 — 29	— 66 30 —	— 131 137 —	— 15,292 15,947 —	素材 商業・専門サービス 家庭用品・パーソナル用品 家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	133 3	96 2	268 —	31,240 < 2.4 % >
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	243 11	121 6	768 —	89,402 < 6.7 % >
(イギリス) BP PLC BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	102 22	— —	千英ポンド — —	— —	エネルギー 食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	125 2	— —	— —	— < - % >
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	481 21	258 18	— —	293,446 < 22.1 % >

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 株数に一印がある場合は組入れなしを表します。

(注) (<>内)には、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。ただし、ユーロの場合は当該有価証券の発行地または取引市場の国または地域名を記載しております。

### 国内新株予約権付社債(転換社債)

銘柄	株 数	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
ソニー130%コールオプション条項付第6回無担保転換社債		千円 20,000	千円 26,610
合 計	額 面 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	20,000 1	26,610 < 2.0 % >

(注) 評価額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

## 外国新株予約権付社債(転換社債)

銘柄	当	期		末				
		額	面		金	額	評 価	
							額	外 貨 建 金 額
(アメリカ)		千米ドル		千米ドル		千円		
ON SEMICOND 1% CB		72		73		7,930		
SHANGHAI PORT 0% 21 EB		400		392		42,182		
BOOKING HLDGS 0.9% CB		196		195		21,053		
GOLAR LNG 2.75% CB		124		77		8,389		
SERVICENOW 0% CB		149		331		35,632		
STMICRO 0% A CB		200		255		27,501		
JPM 0% EB		200		223		24,051		
HUAZHU GRP 0.375% CB		194		185		20,003		
LIVE NATION 2.5% CB		219		200		21,537		
RINGCENTRAL 0% CB		110		321		34,546		
BOFA FIN 0.25% MTN EB		145		136		14,652		
CHEGG 0.25% CB		130		198		21,331		
TWLO 0.25% CB		69		109		11,791		
ENVESTNET 1.75% CB		149		159		17,200		
XERO 2.375% CB		200		249		26,830		
DEXCOM 0.75% CB		122		252		27,149		
TAIWAN CEMENT 0% CB		200		239		25,782		
REPLIGEN 0.375% CB		188		218		23,512		
BIOMARIN PHARM 0.599% CB		101		109		11,781		
MICROCHIP 1.625% CB		182		212		22,874		
EXACT SCIENCES 0.375% CB		232		221		23,849		
MERCADOLIBRE 2% CB		150		218		23,504		
LIB MED IT 4% EB		222		134		14,511		
小計	額面金額	3,954		4,717		507,601		
	銘柄数<比率>	23		—		<38.2%>		
(ユーロ・・・ドイツ)		千ユーロ		千ユーロ				
MTU AERO 0.125% MTX CB		100		103		12,093		
SYMRISE 0.2375% CB		200		240		27,976		
小計	額面金額	300		344		40,069		
	銘柄数<比率>	2		—		<3.0%>		
(ユーロ・・・フランス)		千ユーロ		千ユーロ				
EDENRED 0% EDEN CB		146		141		16,469		
ATOS 0% EB		200		240		27,977		
REMY COINTREO.125%RCO CB		149		169		19,715		
ORPEA 0.375% CB		157		148		17,251		
小計	額面金額	652		699		81,413		
	銘柄数<比率>	4		—		<6.1%>		
(ユーロ・・・オーストリア)		千ユーロ		千ユーロ				
CA IMMOBILIEN 0.75% CB		100		106		12,338		
小計	額面金額	100		106		12,338		
	銘柄数<比率>	1		—		<0.9%>		

銘	柄	当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(ユーロ・・・その他)		千ユーロ	千ユーロ	千円
AMADEUS IT 1.5% CB		300	316	36,838
CELLNEX 1.5% CLNX CB		200	314	36,569
小 計	額 面 ・ 金 額	500	630	73,407
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	< 5.5% >
ユ ー ロ 計	額 面 ・ 金 額	1,552	1,781	207,228
	銘 柄 数 < 比 率 >	9	—	< 15.6% >
(イギリス)		千英ポンド	千英ポンド	
VODAFONE 1.5% CB		100	86	11,570
OCADO GRP 0.875% CB		100	110	14,760
小 計	額 面 ・ 金 額	200	197	26,330
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	< 2.0% >
(スイス)		千スイスフラン	千スイスフラン	
SIKA 0.15% CB		260	286	31,666
小 計	額 面 ・ 金 額	260	286	31,666
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	< 2.4% >
(香港)		千香港ドル	千香港ドル	
HARVEST INTL 0% EB		2,000	1,997	27,730
ZHONGSHENG GRP 0% CB		2,000	2,229	30,940
小 計	額 面 ・ 金 額	4,000	4,227	58,671
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	< 4.4% >
(シンガポール)		千シンガポールドル	千シンガポールドル	
CAPITALAND 2.8% REGS CB		250	244	18,482
小 計	額 面 ・ 金 額	250	244	18,482
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	< 1.4% >
合 計	額 面 ・ 金 額	—	—	849,981
	銘 柄 数 < 比 率 >	38	—	< 63.9% >

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) ( )内には、各証券の発行通貨の国・地域名または取引市場を記載しております。ただし、ユーロの場合は当該有価証券の発行地または取引市場の国または地域名を記載しております。うち、ユーロ圏以外の発行地または取引市場の国または地域名については、「ユーロ・・・その他」の欄に記載しております。

## 外国投資信託証券

銘	柄	当 期 末				
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)		口	口	千米ドル	千円	%
PROLOGIS INC-REIT		2,462	2,462	219	23,587	1.8
合 計	口 数 ・ 金 額	2,462	2,462	219	23,587	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.8% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内の比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 口数に「—」がある場合は組入れなしを表します。

(注) ( )内には、各証券の発行通貨の国・地域名または取引市場を記載しております。

## 優先証券

銘柄	証券数	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		証券数	証券数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百証券	百証券	千米ドル	千円		
BANK OF AMERICA CRP 7.25% SERIES L PFD	1	1	187	20,205		銀行
WELLS FARGO CO 7.5% SERIES L PFD	1	1	184	19,841		銀行
BECTON DICKINSON AND CO 6.125% A PFD	10	—	—	—		ヘルスケア機器・サービス
CROWN CASTLE INTERNATIONAL 6.875% A PFD	0.89	0.89	126	13,638		不動産
NABORS INDUSTRIES LTD 6% PFD	17	—	—	—		エネルギー
STANLEY BLACK & DECKER INC 5.375% PFD	7	—	—	—		資本財
合 計	証券数・金額	39	3	498	53,686	
	銘柄数<比率>	6	3	—	<4.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 証券数・評価額の単位未満は切捨てです。なお、証券数が単位未満の場合は小数で記載しております。

(注) 証券数に一印がある場合は組入れなしを表します。

(注) ( ) 内には、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2020年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	293,446	22.1
新株予約権付社債(転換社債)	876,591	65.9
投資信託証券	23,587	1.8
優先証券	53,686	4.0
コール・ローン等、その他	81,948	6.2
投資信託財産総額	1,329,258	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) 当期末における外貨建純資産(1,256,396千円)の投資信託財産総額(1,329,258千円)に対する比率は94.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=107.60円、1カナダドル=76.27円、1ユーロ=116.34円、1英ポンド=133.11円、1スイスフラン=110.46円、1スウェーデンクローネ=10.71円、1香港ドル=13.88円、1シンガポールドル=75.60円、1新台幣ドル=3.58円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,329,258,727
コール・ローン等	79,728,271
株式(評価額)	293,446,530
公社債(評価額)	876,591,361
投資信託証券(評価額)	23,587,693
優先証券(評価額)	53,686,120
未収配当金	677,850
未収利息	1,478,813
前払費用	62,089
(B) 負債	87,864
未払解約金	87,864
(C) 純資産総額(A-B)	1,329,170,863
元本	576,223,355
次期繰越損益金	752,947,508
(D) 受益権総口数	576,223,355口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,067円

## &lt;注記事項&gt;

期首元本額	674,211,924円
期中追加設定元本額	138,218,465円
期中一部解約元本額	236,207,034円
元本の内訳	
JPMグローバルCBプラス	576,223,355円

## ○損益の状況

(2019年4月26日～2020年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	16,435,159
受取配当金	8,633,753
受取利息	7,685,773
その他収益金	150,138
支払利息	△ 34,505
(B) 有価証券売買損益	△106,297,286
売買益	83,471,204
売買損	△189,768,490
(C) その他費用等	△ 609,915
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 90,472,042
(E) 前期繰越損益金	982,494,246
(F) 追加信託差損益金	189,764,086
(G) 解約差損益金	△328,838,782
(H) 計(D+E+F+G)	752,947,508
次期繰越損益金(H)	752,947,508

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。